

## 第二主日礼拝

午前 11:00-12:00  
(YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 146 篇 1-5 節 (旧約 1087)

賛 美 飼い主 わが主よ (教会福音 303)

交 読 詩篇 40 篇 1-10 節 (旧約 973)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 ヨハネの福音書 3 章 11-21 節 (新約 180)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『いのちを持つため』 松井 元始 牧師

応答のとき

賛 美 ヨハネ 3:16(神は実にそのひとり子を) (教会福音 217)

感謝祈禱 (献金の感謝とともに)

頌 栄 父・子・聖霊の (教会福音 271)

祝 祷

後奏・黙祷

\* \* \*

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈禱〉  
松井師 牧子師

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会 牧師:松井元始

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: [immanuelojichurch@gmail.com](mailto:immanuelojichurch@gmail.com)

銀行振込:みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『いのちを持つため』 (ヨハネの福音書 3 章 11-21 節) 2021.6.13.

〈はじめに〉 10 節以降、黙り込む教師ニコデモにイエスが語られた箇所です。それが 15 節までか、21 節までか、意見は分かれます。「生まれなければ…」(3,5,7)と語られたことは、「永遠のいのち」(15,16)と言い換えられています。いのちに関わることは、常に最優先の必須事項です。

### I 人の子の証し(11-15)

#### ① 地上のこと(11-12)

二人の会談なのに、「わたしたち」「あなたがた」(11,12)には誰が加わっているのでしょうか。イエスは霊的・人格的刷新を語られ、聖書にもその体験・見聞の証言が数々あります。しかしニコデモはあり得ないこと(9)と受け入れませんでした。それは彼だけではありません。

#### ② 天上のこと(12-13)

12 節後半はイエスの嘆きですが、なおも語り続けられるのはなぜでしょう。天は神の領域支配で、そこに至った人はいません。「しかし、天から下ってきた者、人の子は別です」と言われます。それは誰のことでしょう。そのような者がいるなら、証言を受け入れますか。

#### ③ 上げられる人の子(14-15)

14 節は民数記 21:4-9 の故事を引用して、モーセが上げた蛇と人の子を重ね合わせます。「蛇を仰ぎ見ると生きた」ように、人の子を信じる者はみな、永遠のいのちを持つのです。人の子が天から下るとは、また上げられるとは、具体的にどういうことなのでしょう。

### II ヨハネの証し(16-21)

#### ① 神は…愛された(16-17)

世は人間とその世界です。神はこれを愛されました。愛が神の本質・性質です。神の愛はどう表されましたか。その目的は何ですか(消極的と積極的があります)。その目的を人が享受するためにどうすればよいのでしょうか。「愛された」と過去形なのはどうしてでしょう。

#### ② 人々が…愛した(18-20)

神の愛は「光が世に来ている」と現在形です。それは人々の愛の歪みを投影します(19)。自分の行いが悪く、明らかにされる光を憎み、拒絶し、そのまま闇に留まります。さばきとは、彼の言うとおりに、為すがままに放置されることです。モーセの故事にも見られます。

#### ③ 真理を行う者(21)

揺るがない神の愛を、神が望まれるように受け入れることが真理です。自分の心と生活を神の愛の光に照らされ探られることへと進み出る者を、神は滅ぼされず、むしろ神とともに生きる永遠のいのちを与えられます(生まれる=be born:受動態)。

〈おわりに〉 いのちは交わり・活動・成長と直結します。神の前に生き、人らしく愛に生きるためにイエスが語られる天から与えられる永遠のいのちは必須です。神は御霊によって人にいのちを吹き入れようと、御子イエスを遣わされました。十字架は信じ見上げるしるしです。(H.M.)